

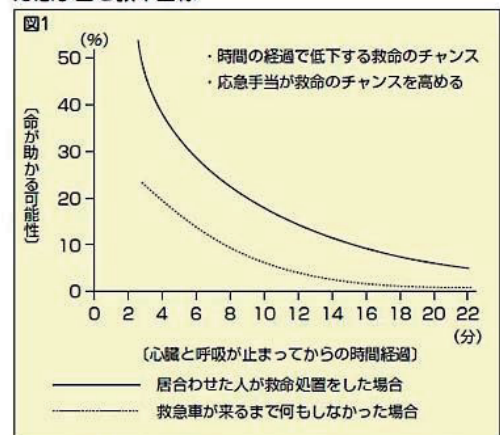
六甲アイランド施設AED設置 3か所



3-2. 救命処置について（東京消防庁「応急手当の基礎知識」より抜粋）

心臓や呼吸が止まった人の治療はまさに1分1秒を争います。図1を見てわかるように、心臓や呼吸が止まった人の命が助かる可能性は、その後約10分の間に急激に少なくなっていきます。このようなとき、まず必要なことは「すぐに119番通報する」ことです。119番通報が早ければ早いほど、病院に早く到着できます。また、病院に到着するまでの間も、救急隊員による救急処置をより早く受けることができます。しかし、それだけでは十分ではありません。救急車が到着するまでには全国平均で6分間以上かかります。救急車が来るまで手をこまねいては、助かる命も助けられないことになります。そこで、そばに居合わせた人による救命処置が必要になるのです。

応急手当と救命曲線



Holmberg M et al. Effect of bystander cardiopulmonary resuscitation in out-of-hospital cardiac arrest patients in Sweden. Resuscitation 47:59-70, 2000. より、一部改変して引用